学校番号	４０５

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「 高校社会と情報　新訂版」（実教出版）						
副教材等	「高校社会と情報　学習ノート」（実教出版）「令和版　日本語ワープロ検定試験模擬問題集２・準２級編」（日本情報処理検定協会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的学習を通して、情報の特徴や社会に及ぼす影響を学び、日常使っている（コンピュータに）に対して、理解を深め、適切な使用方法を考えましょう。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集，処理，表現できる能力を身に着けていこう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友たちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集，処理，表現させる。
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 総合評価・自己評価等	定期考査 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 総合評価・自己評価等	課題作品 発表 実技テストの結果 等	定期考査 ノートやワークシート の記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会・コミュニケーション・メール	○情報や情報社会について ○コンピュータを利用した犯罪と，被害者にならないための心構え ○コンピュータの健康への影響や，情報格差への対応 ○個人情報について ○メディアの特徴について ○コンピュータやコミュニケーション手段の発達・形態、メールについて ○コンピュータと周辺装置の構成，ソフトウェアについて	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:携帯電話のマナーやインターネットのコミュニケーションの心構えについて関心をもっているか。 b:・情報化の進展が社会を発展・充実させてきたことや，それに伴って生じてきた，様々な課題とその解決方法を考えることができるか。 c:適切な個人情報の取り扱いや電子メール，Webページ作成，電子掲示板，チャットなどのインターネット上のコミュニケーションで適切な対応ができるか。 d:情報化が人間に及ぼす影響について理解する。コンピュータのしくみや活用について理解する。	授業観察 発表 定期考査 ワークシート ノート
1学期	ビジネス文書	○タッチタイピングについて ○ビジネス文書	○ ○	 ○	○ ○	 ○	a:コンピュータの操作方法に関する興味・関心を高め、意欲的に参加しようとしている。 b:ビジネス文書を作成する際のプロセスを習得する。 c:タッチタイピング及びビジネス文書の作成するための基礎的・基本的技能を身に付ける。 d:ビジネス文書の形式の意味を理解する。	授業観察 技能テスト ワークシート ノート

2学期	コミュニケーション	○ネットワークやインターネット ○情報システムおよび社会における情報技術の活用	○ ○	 ○	○	○ ○	a:情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 b:情報システムや提供されるサービスのあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:効果的に情報を共有するため、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d:プロトコルや情報伝達の仕組みについて理解し、安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 定期考査 ワークシート ノート
2学期	情報安全	○個人・組織の安全対策について ○暗号化 ○情報社会における法律や著作物の利用	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動しようとしている。 b:情報技術、法や制度及び人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c:情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報化が人間に及ぼす影響について理解する。よりよい情報社会を構築するための考え方や工夫について理解する。	授業観察 定期考査 ワークシート ノート
2学期	表とグラフ・プレゼンテーション	○表計算・グラフの作成 ○プレゼンテーション 問題の解決 スライド作成 発表・評価など	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ソフトウエアの操作方法に関する興味・関心を高め、意欲的に参加しようとしている。 b:課題を作成する際のプロセスを習得する。 c:課題作成するための基礎的・基本的技能を身に付ける。 d:課題を作成するためにはソフトウエアの機能をどのように使用するか使用法等を理解する。	授業観察 技能テスト ワークシート ノート

3学期	ディジタル化	○ディジタル情報 ○数値や文字の表し方 ○色や画像のディジタル化	○ ○ ○	○ ○	○ ○ 	○ ○	a:コンピュータの情報の表し方や仕組みについて興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報のディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:２進数，10進数，16進数の相互変換の計算ができディジタル化した情報を編集し、発信することができる。 d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している。	授業観察 定期考査 ワークシート ノート
3学期	Webページによる情報発信	○Webページ	○	○	○	○	a:Ｗｅｂ作成の操作方法に関する興味・関心を高め、意欲的に参加しようとしている。 b:課題を作成する際のプロセスを習得する。 c:課題作成するための基礎的・基本的技能を身に付ける。 d:課題を作成するためにはソフトウエアの機能をどのように使用するか使用法等を理解する。	授業観察 技能テスト ワークシート ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。